



『生体信号計測実習コース I-M』のご案内



初中級者向

本コースは生体信号の計測と処理を利用してご研究をされる方々を対象に、どのようにすればきれいな生体電気現象の計測と、問題のない解析結果が得られるかを、実習を中心に習得していただくコースです。関連したMEの知識をご説明しながら脳波(EEG)、筋電図(EMG)、心電図(ECG)などの実測を行います。各種アーティファクト(ノイズ)の原因と対策をご説明致します。

★このコースで得られることとして、次のことが挙げられます。

- ① より正確で失敗のない生体電気現象の測定ができます。
- ② 正しい生体電極の装着がより短時間でできます。
- ③ 測定以前にアーティファクトが見えてくるようになります。
- ④ 構成機器の検討や実験計画の構築に関してより良い判断ができます。
- ⑤ 書物では得られない、現場での **Know HOW** と **Know WHY** を得られます。
- ⑥ 生体電気現象計測の醍醐味(深みと面白さ)を味わえます。
- ⑦ デジタル方式の生体アンプの仕組み、利点と注意点が把握できます。



セミナーと実習風景です。

初心者の方はもちろんのこと中級以上の方におきましても、新たな知見が広がり実証しながら知識の整理をしていただけるコースとなっております。参加者のアンケート公開でどのような内容かをご確認いただけます。

ご参加を希望される方は、開催日・コース名・所属・氏名・電話番号・E-mail アドレスを明記の上、E-Mail post@santeku-map.com 又は FAX:06-7850-3671 でお知らせ下さいませようお願い申し上げます。

言己

日時: **第64回** 2022年**06月10日(金)** 10:00~18:00 (20:00)

第65回 2022年**09月30日(金)** 10:00~18:00 (20:00)

第66回 2023年**01月27日(金)** 10:00~18:00 (20:00)

※9:30 開場 5分前までに受付をお済ませ下さい。

※終了後、個別質問や相談に応じます。ご利用の方は余裕を持ってご予約ください。(質疑応答は~20:00 頃迄)

場所: 弊社内 **MaP工房 2F 公開工房(セミナールーム)**

〒545-0032 大阪市阿倍野区晴明通9-40 Tel:06-6652-5984

※『天王寺駅前』駅より阪堺上町線に乗車『東天下茶屋』駅下車徒歩6分 詳しい地図は受付後ご案内します

定員: **6名 (2人で1セットの機器使用の時は10名まで)**

※1人1台の計測処理装置(PC含)と生体アンプ4ch分/1人をご利用いただきます。

10:00 ガイダンスと自己紹介など

10:15 “まずは測ってみよう!” (脳波、筋電図、心電図の実測による自己チェック)

12:15 昼食(休憩) (弊社にてお弁当を用意いたします)

13:15 生体信号の計測 (Measurement)

- ① 電極や電気の基礎について (種類、特徴、取付法、電極抵抗測定 など)
- ② 生体アンプについて (差動アンプ、時定数、CMR、アナログとデジタル アンプ の違い、パッシブ電極とアクティブ電極の違い、これらの原理から利点と注意点など)
- ③ アーティファクト(ノイズ)除去の実際 (長年の経験に基づいたノウハウ紹介 など)
- ④ 脳波、筋電図の計測テクニックの説明

16:00 計測実習を行います。(タイムトライアル、インピーダンスコンテスト など)

18:00 終了 (以降 フリーディスカッション)

参加費: **¥35,000-** (お一人様・各回共) (事前振込み若しくは当日会場にてお願い致します)

[講習費用 ¥19,000+機器使用料 ¥15,000+消耗品 ¥1,000] (昼食代は含まれておりません。金額は全て消費税込です。)

※1台の実習機器(PCと生体アンプ)を2人でご利用になる場合は、2人目の方の機器使用料は不要です。

★都合により開催日時やプログラムの変更を行う場合がございます。予めご了解くださいますようお願い致します。

★ご要望に応じて他の日程で開催することがあります。(4名以上のご参加で随時開催、6名以上で貸切開催致します)

★貸切開催の場合は、6名の料金を10名様までのご参加、及び、ご要望に応じてセミナー内容のアレンジが可能です。



NST-MaP_HK#220208



ニホンサンテック株式会社 **MaP 工房**

<http://www.santeku-map.com/>

〒545-0032 大阪市阿倍野区晴明通9番40号

Tel **06-6652-5984**

Fax **06-7850-3671**